

千葉の園芸

発行所 千葉市中央区市場町 1 - 1
公益社団法人千葉県園芸協会
連絡先 043 (223) 3005
発行日 毎月 1 日
平成 29 年 8 月号

会長就任のあいさつ及び千葉会の活動について

千葉会会長 遠藤 貢司

平成 29 年 5 月に新会長に就任しました、東京新宿ベジフル (株) の遠藤貢司です。
千葉会は、生産者の皆様・JA・全農千葉県本部・県と常に課題を共有し、千葉県農業の発展に努めてまいります。

長い歴史を刻んできた千葉県の園芸産地も高齢化や担い手不足が加速しております。一方、青果物の流通面ではカット野菜や惣菜の構成比が上昇し、業務加工の取引も拡大、複雑化の様相を呈しております。

また、規制改革会議では卸売市場法の見直しについても議論されております。

産地、生産者の皆様には、これまで培ってこられた高い技術力、組織力、消費地に近いというメリットを生かし、生産振興に取り組んでいただくことをお願いいたします。

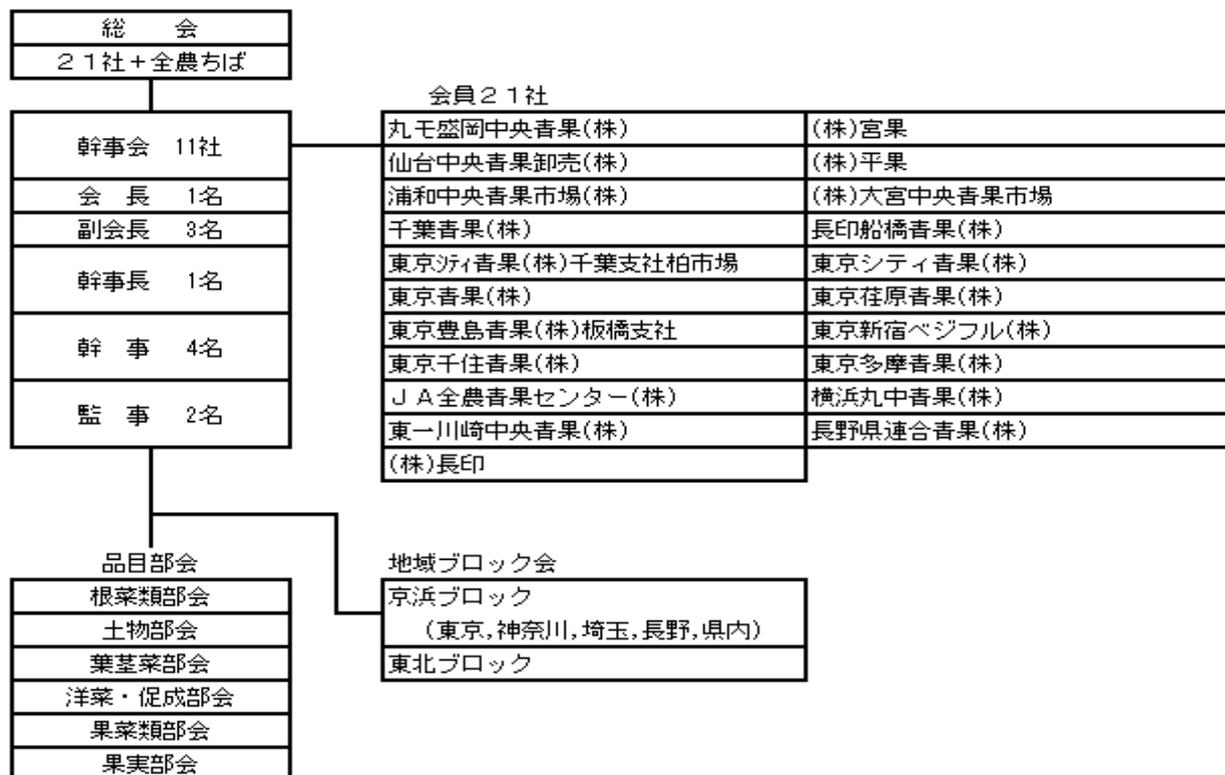
【千葉会の活動】

千葉会は、青果卸売会社 21 社と全農千葉県本部から構成され、幹事会と 6 品目部会 (根菜類、土物、葉茎菜、洋菜・促成、果菜類、果実) が設置されています。

トマト、ねぎ、にんじん、さつまいも等の主要品目については、全農千葉県本部及び品目別協議会と、スイカや大和芋などの特産品目は JA 協議会などと連携して販売強化を図ります。

全農千葉県本部と協力し、流通面での課題について機動的に対応できるよう、また販売促進活動を通じ、千葉県産農産物に対する深い理解と、ファン作り・売場作りに努めてまいります。

千葉会機構図



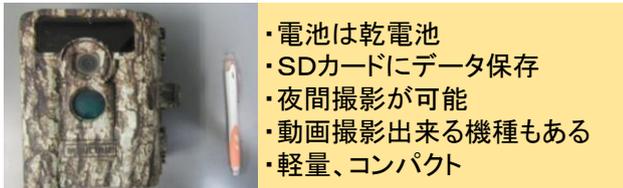
赤外線センサーカメラを用いたイノシシの行動把握で効率的な捕獲

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所
生産環境研究室 研究員 松村 広貴

箱わなの設置場所の選択やエサによる誘引は、イノシシの痕跡から行動を推測して行う必要があり、未経験者には難しく熟練を要します。そこで、イノシシの行動を映像で確認できる赤外線センサーカメラを利用すれば、初心者でも効率的な捕獲が可能となります。

1 赤外線センサーカメラ

赤外線センサーカメラ（以下センサーカメラ）は、熱を持つ動物から発する赤外線を感知し自動で撮影する屋外設置型のカメラです（図 1）。普段は痕跡でしか確認できない野生動物の行動を実際の映像で捉えるため、生態調査や行動調査に用いられます。



- ・電池は乾電池
- ・SDカードにデータ保存
- ・夜間撮影が可能
- ・動画撮影出来る機種もある
- ・軽量、コンパクト

図 1 赤外線センサーカメラと特徴

2 適切なわなの選択や設置場所の選定

センサーカメラによる調査では、イノシシが泥浴びをするヌタ場では 1 年を通じて出没し、秋に大好物のドングリで一杯になるマテバシイ林では出没する季節が限られることなどが明らかになりました（図 2）。移動に労力を要する「箱わな」は頻繁に出没する場所に、設置場所を簡単に移動できる「くくりわな」はそういう場所だけでなく季節によって出没する場所にも設置するなど、出没パターンを把握することでわなの選択や設置場所の選定が適切に行えます。

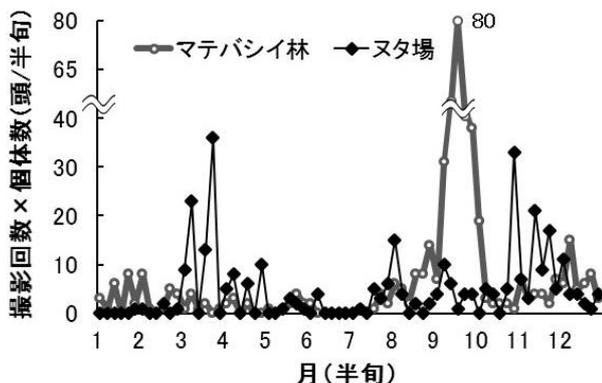


図 2 異なる場所におけるイノシシの出没傾向の経時変化（平成 26 年）

注) ヌタ場：シカ、イノシシなどの野生動物がダニなどの寄生虫を落とす泥浴びをする場所のこと

3 初心者でも熟練者に近い捕獲が可能

箱わなはエサによる誘引を利用した捕獲器具で、イノシシの痕跡から行動を推測してエサを置く場所やタイミングを決める必要があるため、経験が少ない初心者には難しいものです。そのため、わな猟免許を取得したばかりで捕獲経験のない生産者の協力を得て、センサーカメラを利用したイノシシの行動把握により効率的な捕獲が可能かどうか検証しました。



写真 箱わなとイノシシ
警戒して手前の方のエサしか食べていない様子

捕獲対象のイノシシは警戒心が強く、頻繁に出没する場所に設置した箱わなの中にエサ（米ぬか）をたっぷり置いても捕獲できませんでした（写真）。そこで、箱わなに向けてセンサーカメラを設置し、2、3日間隔でデータを回収してイノシシの行動を映像で確認しながら餌付けにより箱わなへの誘導を試みました。箱わなの周囲に置いたエサをイノシシが食べることを確認してから、エサの置き場所を徐々に箱わなの中へと移して誘導したところ、カメラ設置後 29 日目にこのイノシシを捕獲できました。その後も映像からイノシシの行動を確認し、エサを置く作業を続けた結果、同じ場所に設置したこのわなで 4 か月間に 12 頭のイノシシを捕獲できました。

4 おわりに

初心者でもセンサーカメラによりイノシシの行動を観察、把握できれば、経験豊富な捕獲者と同じように効率的な捕獲が可能になることが分かりました。イノシシを知り、対策を立てるためには、センサーカメラの利用は非常に有効な手段と言えるでしょう。



大規模経営に適した食用ナバナの品種構成

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所
野菜・花き研究室 研究員 宮本 直子

食用ナバナの規模拡大を図るためには、加工・業務需要に対応した省力的な出荷形態を導入し 11～3 月まで安定出荷できるように、9 月上旬～10 月上旬に「春華」、「CR 京の春」、「栄華」、「CR 華の舞」、「CR 花まつり」を順次播種します。

1 はじめに

食用ナバナは千葉県南部で古くから栽培される重要な地域特産物です。生産者が美しく花蕾を束ねた荷姿は人形巻きと呼ばれ、春を呼ぶ食材として高値で取り引きされています。しかし、その出荷調製労力の負担が大きく、規模拡大や担い手育成を阻んでいます。そのため近年では、加工・業務用向けに、花蕾を束ねずにバラのまま小袋やコンテナに入れる省力的な出荷形態が導入されるようになり、規模拡大が進みつつあります。

2 加工・業務向け播種時期別品種構成

加工・業務用出荷には計画生産・安定出荷が求められます。需要期の 2 月下旬～3 月中旬に収穫ピークを迎え 11～3 月に連続して安定出荷が見込める作付体系として適切な、4 回にわたる播種時期とその品種構成を紹介します。

(1) 第 1 回：9 月上旬に早生の「春華」（日本農産）又は「CR 京の春」（丸種）を播種すると、いずれも 10 月下旬～1 月上旬に収穫となります。

(2) 第 2 回：9 月中旬に中生の「栄華」（サカタのタネ）及び中晩生の「CR 華の舞」（丸種）を播種

すると、それぞれ 12 月中旬～3 月中旬及び 1 月上旬～3 月下旬に収穫となります。

(3) 第 3 回：9 月下旬に「栄華」及び「CR 華の舞」を播種すると、それぞれ 1 月中旬～3 月下旬及び 1 月下旬～3 月下旬に収穫となります。しかし、9 月中旬播種に比べ収量は少なくなります。そこで、9 月下旬は晩生の「CR 花まつり」（丸種）を播種すると 2 月中旬～4 月上旬に、若しくは「サカタ 88 号」（サカタのタネ）を播種すると 2 月上旬～4 月上旬に収穫できます。ただし、「サカタ 88 号」は根こぶ病抵抗性がないので注意が必要です。

(4) 第 4 回：最後は 10 月上旬に「CR 花まつり」又は「サカタ 88 号」を播種すると、いずれも 2 月中下旬～4 月上旬に収穫となります。

3 おわりに

このように早生～晩生の品種を組み合わせると、順次播種していくと、各品種の収穫ピークが重ならず、長期的な連続出荷が可能です。作付面積 5ha を想定した出荷モデルを下図に示しました。ただし、長雨や台風等で適期に播種できない場合は、移植栽培を導入するなどの対策が必要です。

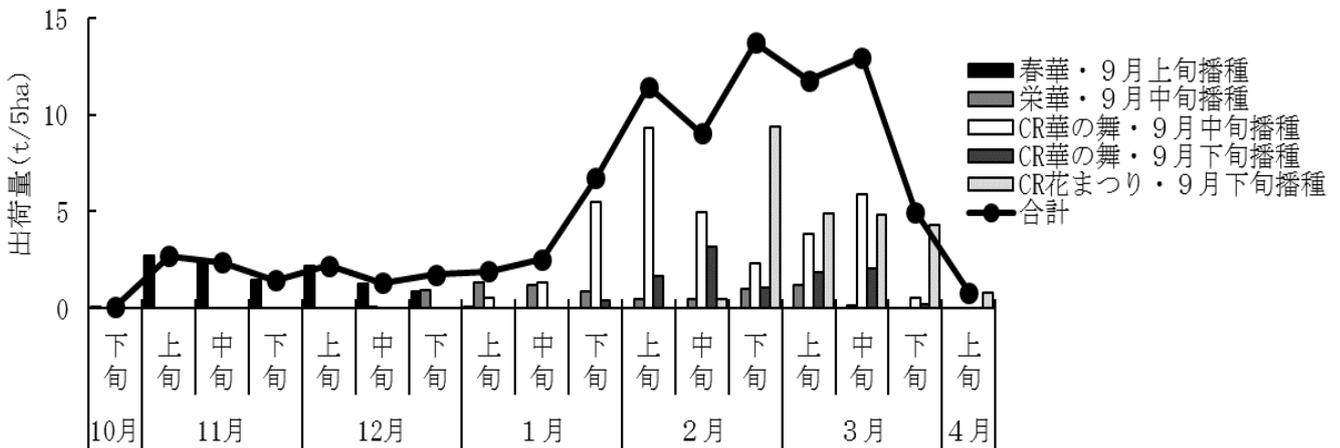


図 作付面積 5ha 規模の時期別出荷量モデル (花蕾を 15cm に調製した場合)

頑張る産地



九十九里地域におけるネギ産地広域連携の取組

山武農業事務所 改良普及課 田中 奈穂子
(九十九里ねぎ連絡協議会事務局)

海匝・山武・長生地区の九十九里地域は秋冬・春どりの作型を中心としたネギの産地です。産地の共通した課題解決を目指し、平成 26 年に九十九里ねぎ連絡協議会が組織され、生産振興に広域連携活動で取り組みました。

1 九十九里ねぎ連絡協議会

海匝、山武、長生地区の九十九里地域は、日本屈指のネギ産地で、3つのJAを中心に、安定した生産量を背景に、それぞれが京浜市場で強い影響力を持つ産地となっています。しかし、生産者の高齢化等から徐々に生産量が減少し始めており、産地規模の維持・拡大が共通した重要課題となっていました。また、ゲリラ豪雨や酷暑による秋冬ネギの夏越し対策や収益性の高い夏ネギの拡大といったネギ生産の振興方向も共通していました。そこで、各関係機関が一緒になって、これらの課題に取り組むため、JAちばみどり、JA山武郡市、JA長生、JA全農ちば、(公社)千葉県園芸協会、県生産振興課、流通販売課、担い手支援課、農林総合研究センター、海匝・山武・長生農業事務所を構成機関とした、九十九里ねぎ連絡協議会が発足しました。

2 活動の内容とこれまでの成果

年3回の担当者会議のほか、県内外の視察研修会や機械の実演会等を実施し、各関係機関が一丸となってネギ産地振興に取り組みました。その成果として、夏ネギの生産振興では、5月に出荷する「プレミアム夏ネギ」に3地域で取り組み、出荷量拡大につながりま



ライン化された調整設備に注目の若手生産者
(平成 26 年茨城県視察研修会)

した。今後はJA全農ちばが中心となり、「オール千葉」の取組としての広がりが期待されます。

また、協議会内の技術部会で検討した、千葉県ネギ栽培マニュアルが(公社)千葉県園芸協会の協力を得て平成 29 年 3 月に完成しました。山武農業事務所では、このマニュアルをテキストに平成 29 年度から若いネギ生産者を中心にネギのスキルアップセミナーを行っています。

平成 29 年 1 月には、九十九里ネギ若手生産者交流会を開催し、海匝・山武・長生の若手ネギ生産者が集まりました。プレミアム夏ネギと良食味特選ネギの栽培ほ場視察、ネギ省力化機械の実演、種苗メーカー4社からの情報提供を行いました。情報交換会では、若手生産者から次回の企画要望や地域連携の重要性が確認され、今後、3地域の若手の連携が深まる良い機会になりました。



九十九里ネギ若手生産者交流会にて、
収穫機の説明を聞く若手生産者

3 今後の取組

今年度は、ネギ黒腐菌核病の対策に取り組んでいます。今後も、若手生産者の交流や情報提供を行い、協議会の活動を通じて、「オール千葉」が強化され、ネギ生産活動が活発になることを目指していきます。



なし剪定枝の発電用エネルギーとしての利用促進

公益社団法人千葉県園芸協会
産地振興部 主幹 田中 雄一

(公社)千葉県園芸協会では、平成28年度から、JA等がなしの剪定枝を発電エネルギー用途として生産者から集積し、保管・販売などを行う場合、国のガイドラインに基づき、当該JA等を認定する取組を開始しましたので、その概要などについて御紹介します。

1 取組の背景

なしの生産が盛んな本県ですが、その栽培管理により発生する剪定枝は、廃棄物としての処理が必要であるため、生産者の負担が大きくなっています。

一方、なしの剪定枝は、木質バイオマスとして、「再生可能エネルギー固定価格買取制度（以下、「固定価格買取制度」）」にのっとり、発電用燃料として活用することができます。

JAなどが、この制度を活用する前提で剪定枝の集積や保管などの役割を担う場合、消費者の信頼と円滑なバイオマスの供給のため、国のガイドライン（「発電利用に供する木質バイオマスの証明のためのガイドライン（林野庁。平成24年）」。以下「ガイドライン」）に従い、次の運用を行うことが求められています。

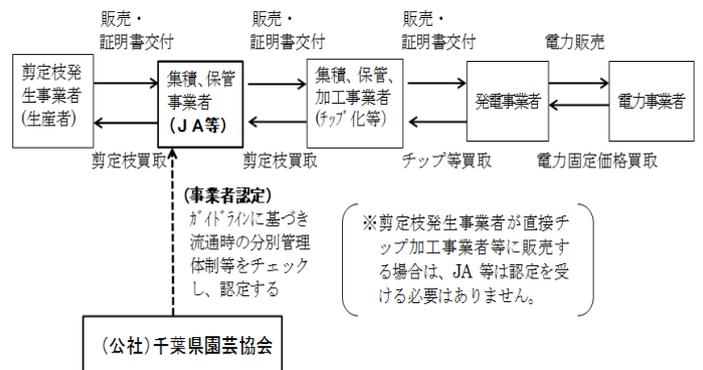
- ① JAなどの取組を行う事業者が所属する団体等は、当該事業者を認定する。
- ② 認定を受けた取組事業者は、生産者から集積・保管する剪定枝について、出荷までの間、他のバイオマス等が混在しないように、分別管理を行い、剪定枝の販売先に対し、剪定枝の樹種・数量等を記載した証明書を交付する。

本協会としては、この取組が、都市部をはじめとしたなし生産農家の経営安定に資することから、上記①の取組事業者に対する認定の役割を担うこととし、平成28年10月11日から運用を開始しました。

2 取組の概要など

本取組のイメージを、図に示しました。

<取組のイメージ>



なしの剪定枝を固定価格買取制度により発電燃料に活用する場合は、発電事業者へ剪定枝が届くまでの間、販売される各段階で、販売元の事業者が販売先の事業者に対して、証明書を交付する必要があります。

本協会は、このうち、会員であるJA等が生産者から剪定枝を買取り、集積・保管などを行う場合に、申請に基づき、集積・保管場所や分別管理体制の構築状況を確認した上で、当該JA等を認定します。

集積や保管の取組を始めるに当たっては、場所の確保と運搬及びそれらに伴う経費に加え、発電原料とする場合にはチップ加工が必要であることから、どこで（誰が）加工を行うのか、などについても検討が必要です。

<認定の対象となる事業者の範囲>

- 協会の会員（正会員。以下同じ）
- 協会の会員の構成員又は部会等の下部組織
- 協会の会員が構成員となっている団体（ただし、会員又は会員になることが確実であると見込まれる市町村が、構成員に含まれるか又は事務局を担当している団体に限る。）

<これまでに認定した事業者>

- 市川市農業協同組合
(平成28年12月12日認定)
- 鎌ヶ谷市果樹剪定枝等
リサイクル事業推進協議会
(平成29年3月15日認定)

千葉県立農業大学校 平成 30 年度一般入学生募集

本校は、農業を志す優れた担い手及び指導者の育成を目指しており、以下のとおり入学生を募集します。

▼ 募集人員

A 日程 農学科：約 30 名 研究科：約 10 名

B 日程 農学科：約 10 名 研究科：若干名

▼ 受験資格

農学科：高等学校等を卒業した者又は平成 30 年 3 月卒業見込みの者

研究科：農業大学校又は短期大学等を卒業した者又は平成 30 年 3 月に卒業見込みの者等

▼ 試験期日

A 日程 平成 30 年 1 月 12 日(金)

B 日程 平成 30 年 2 月 21 日(水)

▼ 試験場所 千葉県立農業大学校

▼ 試験内容

農学科：筆記試験

必須科目 国語総合(古文及び漢文を除く)

選択科目 農業と環境・生物基礎及び化学基礎の 3 科目のうちから 1 科目を選択

研究科：筆記試験

選択科目 作物学・園芸学・畜産学及び農業経営学の 4 科目のうちから 2 科目を選択

各科共通：面接

▼ 願書受付

A 日程

平成 29 年 12 月 11 日(月)～12 月 22 日(金)

B 日程

平成 30 年 1 月 29 日(月)～ 2 月 9 日(金)

▼ 合格発表

A 日程 平成 30 年 1 月 24 日(水)

B 日程 平成 30 年 3 月 2 日(金)

▼ 問合せ先

千葉県立農業大学校庶務教務課

〒283-0001 千葉県東金市家之子 1059

TEL 0475 (52) 5121 FAX 0475 (54) 0630

<http://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/>

“千葉なし味自慢コンテスト” 開催のお知らせ

このコンテストは、県内で生産される梨の品質向上と消費拡大を目的に毎年開催されています。

本年は、肉質がきめ細かで甘味が強く、人気の高い「幸水」を対象に、県内産地から 100 点を超えるよりすぐりの梨を集め、「千葉なしナンバーワン!」を決定します。

期間中は梨の試食や楽しいゲームを行うとともに、8 月 6 日には、プレゼント抽選会や梨のレシピ紹介、チーバくんやご当地キャラクターとの撮影会、コンテスト出品物の即売をします。

たくさんの皆様の御来場をお待ちしております。

1 期 日 平成 29 年 8 月 5 日(土)～6 日(日)

5 日(土) 専門家による審査

審査の様子を御覧いただけます。

6 日(日) 午前 11 時から一般来場者の方、先着 50 名様に食べ比べていただき「あなたが選ぶ千葉なしナンバーワン!」を決定します。

午後 3 時から、展示品の即売

2 会 場 イオン津田沼店 1 階センターコート

(新京成線新津田沼駅下車徒歩 2 分)

3 問合せ先 千葉県農林水産部生産振興課

TEL：043(223)2872

